

“無床診療所化が望ましい”



高橋委員長

滝上町国民健康保険病院 運営等調査特別委員会 報告

調査の経過

- 令和元年 9月4日 令和元年第9回定例会において、滝上町国民健康保険病院運営等調査特別委員会設置
- 令和元年 9月19日 第1回特別委員会
- 10月11日 第2回特別委員会
- 12月7日 議会主催による外部から講師を招いての公的医療機関経営・運営研修会
- 令和2年 1月28日 先進地自治体病院等視察調査（沼田町）
- 1月30日 “ （名寄市風連町）
- 2月18日 第3回特別委員会
- 3月25日 第4回特別委員会

滝上町国民健康保険病院の既存の施設は昭和50年に移転したものであり、築44年が経過し、老朽化も著しく更新の時期を迎えています。

また、病院の経営状況にあつては、人口の減少とともに入院患者数・外来患者数ともに年々減少し、一般会計からの繰出金も2億円を超え、一般会計からの多額な補てんにより維持されており、この状況も年々悪化の一途をたどり、今後の本町の財政運営に大きな影響を与える重要な課題となっております。

北海道新聞社が一年の北海道命名150年の節目に合わせて実施した世論調査では、北海道への思いとして「今住んでいる地域に将来も住み続けたい」と回答した人が8割を超え、一方、今いる地域に住み続けることに「不安を感じる」とした人が半数近くに上が

ります。また、住み続けるために必要なこととして「医療・介護サービス体制の維持」と答えた人が最も多い結果となっております。調査を進めるにあたっては、これらのことを十分考慮し、4回の特別委員会と先進自治体病院の視察調査等を進めてきました。

特別委員会の結論としては、本町の今後の人口推計や財政的負担等を考慮すると今後3年程度を目途として、無床の診療所化へ向かうこと。また体制を整備する間については、早急に有床の診療所19床として運営することが望ましいとの結論に至りました。

体制の整備としては、①無床の診療所化には、町民の理解や不安の解消、問題点の解決など時間を要することから、行政と医療・福祉などの関係機関等による推進組織の設置や町民を巻き込んだワークショップの開催などを行うこと。

②ワークショップなどでの町民の意見を反映させ、無床の診療所化に併せ老朽化した施設を整備すること。

③町民の安心、信頼を確保するため、24時間対応の在宅訪問診療が必要不可欠となることから、常勤医2名体制を確立すること。

④救急時や病症ごとの搬送にあたっての受け入れ病院となる二次医療圏域の協力体制を構築すること。また、救急搬送時の体制の整備を図ること。

⑤町外病院への通院や救急搬送時の帰路などにおける、交通支援対策の整備を図ること。

以上の体制の整備が無床の診療所化へは必要不可欠であり、そのためには地域が一体となって進めていくことが望まれます。

以上、調査報告いたします。

発行日/令和2年7月22日(年4回発行)
発行/滝上町議会
編集/議会広報特別委員会

〒099-5692 北海道紋別郡滝上町旭町
Tel 0158(29)2111 Fax 0158(29)3588